

株式会社センシンロボティクスへの出資について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、産業用ドローン、カメラ、スマートデバイス等を活用した業務ソリューションの提供を行う株式会社センシンロボティクス（代表取締役社長 CEO 北村 卓也、以下「センシンロボティクス」）に対して、このたび、499,950 千円の出資（以下「本出資」）契約の締結を行いました。

なお、本出資は、2023 年 2 月に新設した価値共創投資枠^{※1}を活用し、ENEOSホールディングス株式会社（代表取締役社長：齋藤 猛、以下「ENEOS」）との価値共創を目的とする出資です。

センシンロボティクスは、『ロボティクスの力で、社会の「当たり前」を進化させていく。』をミッションに掲げ、企業や社会が抱える課題をロボティクス等の先進技術で解決する社会インフラ DX 企業です。

センシンロボティクスは、豊富なプロジェクト実績で得られたデータやノウハウに裏打ちされた AI を活用し、「データ取得」「分析」「レポート化」までワンストップでソリューションを提供しており、設備点検・災害対策・警備監視・現場管理などにおいて、「労働力不足・ミス防止・安全性の向上・時間短縮・コスト削減」や災害発生時の迅速な対応などを可能にする技術・サービスの開発を積極的に進めています。

ENEOSは、センシンロボティクスと業務提携^{※2}を行い、プラント点検を効率化する技術の共同開発を進めるとともに、ドローン等最新のロボティクス技術の積極的な活用により、業務を効率化し新規事業の創出・社会実装を目指して活動しています。

みずほ銀行は、老朽化する産業インフラや社会インフラの点検や、少子高齢化による労働人口の減少、激甚化する災害といった様々な社会課題を解決するためのテクノロジーとソリューションを提供することを目指すセンシンロボティクスとENEOSの協業を後押しすべく、価値共創の取り組みの一環として本出資を行い、事業リスクを一部テイクしながら新たな事業モデルの実現と普及に向け両社とともに挑戦していきます。

〈みずほ〉は、お客さまの価値共創パートナーとして更なる真価を発揮することを通じて、次世代の有望産業・企業の育成に貢献し、持続的に発展する未来を創っていきます。

- ※1 2023年2月15日付プレスリリース：「価値共創に向けた取組みの強化について」
https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20230215release_jp.pdf
- ※2 2020年6月12日付プレスリリース：「ドローンステーション構築に向けた協業開始について」
https://www.hd.eneos.co.jp/newsrelease/20200612_01_1070022.pdf
2023年3月7日付プレスリリース：「自動航行ドローンを活用した配管点検データ取得技術を開発
－ ENEOS 川崎製油所で導入 －」
https://www.eneos.co.jp/newsrelease/upload_pdf/20230307_01_01_0906370.pdf

【センシンロボティクスの概要】

会社名：株式会社センシンロボティクス

所在地：東京都品川区大井一丁目28番1号 住友不動産大井町駅前ビル4階

代表者：北村 卓也

設 立：2015年10月

事 業：ドローンをはじめとするロボティクス技術で解決する社会インフラDX企業。業務における労働力不足・ミス防止・安全性向上や災害発生時の対応など企業や日本社会が抱える課題解決に向けたテクノロジーやソリューションを提供

U R L：<https://www.sensyn-robotics.com/>

【本出資の概要】

出資額：499,950千円

使 途：ドローン購入資金・研究開発及び実証実験費用

以 上